

開設科目名	科目：都市計画学Ⅰ（総論）		担当教員：中山 徹														
開講期	前期	授業方法：講義	単位数：2単位			週時間：2時間											
対象学生	3回生	科目番号：064202															
授業の概要	<p>日本の都市計画制度の概要を講述する。必要に応じて諸外国の都市計画の動向を解説する。都市計画の最も基本的な事柄、土地利用計画、市街地再開発事業、土地区画整理事業、地区計画、居住地の計画、公園計画、交通計画などを説明する。また、近代都市計画の重要な理論、田園都市論、近隣住区論、輝く都市等についても説明する。</p> <p>毎回、授業の中間時に質問用紙を配る。そこに、わからなかった点、補足説明してほしい点、疑問に思った点などを書いてもらい、授業終了までに答える。</p> <p>おおむね3回の授業に対してレポートを1課題出す。各自で定められたルートに従って町を歩きレポートにまとめる場合と、書籍などを読んでレポートにまとめる場合の二通りがある。</p>																
学習・教育目標	<p>(1) 日本の都市計画の概略を理解する。</p> <p>(2) 日本の都市計画の現状・課題を考える。</p> <p>(3) 用途地域制、市街地再開発事業、土地区画整理事業、地区計画、居住地の計画、公園計画など都市計画の基本を理解する。</p> <p>(4) 諸外国の都市計画との違いに関心を持つ。</p>																
	対応表	A		B		C			D		E		F				
		A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	F-1	F-2
						○	◎			○							
キーワード	都市計画、土地利用計画、居住地の計画																
授業計画	<p>(1) 土地利用計画（授業回数3回） 用途地域制、市街化区域と市街化調整区域、容積率と建ぺい率、違法建築と既存不適格</p> <p>(2) 地区計画（1回） 地区計画、建築協定</p> <p>(3) 市街地再開発事業（2回） 市街地開催開発事業の仕組み、現状と課題。2回目の授業は見学会</p> <p>(4) 土地区画整理事業（1回） 土地区画整理事業の仕組み、現状と課題</p> <p>(5) 居住地の計画（2回） 近隣住区理論、千里ニュータウン、中央センター・地区センター・近隣センター、中学校・小学校・幼稚園・保育所、地区公園・近隣公園・街区公園</p> <p>(6) 交通計画（1回） 交通計画の現状と課題</p> <p>(7) 都市計画決定と都市計画の財源（1回） 都市計画決定、公聴会、縦覧、都市計画の財源</p> <p>(8) 都市計画の展望（2回）</p> <p>(9) 試験（1回）</p> <p>(10) 予備（1回）</p>																
教科書	なし。																
参考書	授業中に指示。																
成績評価方法	試験とレポートによる。																
評価割合	定期試験（中間・期末試験）	小テスト・授業内レポート	宿題・授業外レポート	授業態度・授業への参加度	受講者の表（プレゼン）	出席		合計									
	50%	10%	40%	%	%	%	%	100%									
備考	シラバスの詳細、参考文献、過去の試験問題・レポート課題等についてはHPを参照。 http://www.nara-wu.ac.jp/life/resed/nakayama/welcome.htm nakayama@cc.nara-wu.ac.jp オフィスアワー：月曜日・火曜日の11時～12時																